第２章 まちづくりの基本目標

本市の将来の都市像「海と緑にかこまれたここちよい　唐津」を実現していくために、以下の６つの基本目標を掲げ、施策展開を図っていきます。

まちづくりの６つの基本目標

基本目標１

快適な生活と安全・安心のまちづくり

基本目標２

全ての産業が調和して活き活き働けるまちづくり

基本目標３

生涯を通じてここちよく暮らせるまちづくり

基本目標４

生きる力に満ちた人をはぐくむまちづくり

基本目標５

歴史と文化が輝く観光のまちづくり

基本目標６

市民の力を最大限に引き出すまちづくり

基本目標１　快適な生活と安全・安心のまちづくり

快適な市民生活を送るための基盤整備は、まちづくりの基礎として重要です。

自然環境の保全、ごみの削減やリサイクル等の循環型社会の形成、情報基盤やライフライン等の住環境の整備、公共施設の長寿命化など、環境やユニバーサルデザインを意識した暮らしやすいまちづくりを目指します。

また、最近の国内各地で起きている自然災害は、本市においても発生する可能性は否定できなくなってきており、安全で安心して暮らせることの重要性が再認識されています。

地震、津波、風水害などの災害や原子力災害に備え、消防施設及び設備の整備、災害に強い生活基盤の整備、防災拠点・防災行政無線の整備、避難所・避難路・避難時の体制の整備等による防災体制の強化を目指します。あわせて、災害に強いまちづくりの推進のため、自主防災組織の設置促進・育成強化など地域防災力の向上を目指します。

基本的方向

・消防防災体制の整備を進めます。

・地域防災力の向上と充実を図ります。

・自然と調和する快適な生活環境の保全を進めます。

・中心部から各地域への交通網の整備を進めます。

・安らぎと安心をあたえる住環境の整備を進めます。

基本目標２　全ての産業が調和して活き活き働けるまちづくり

経済のグローバル化、少子化、高齢化等を背景として、社会と経済を取り巻く環境は大きな変革期に向かっています。また、近年の長引く景気の低迷や人口減少等により、国内市場が縮小していく中、持続的な経済活動を営み、市民が豊かさを実感できる自立した地域経営を進めていく必要があります。

国の政策を的確に捉え、市民の雇用と所得を確保することで、若者や子どもが地域に定住でき、活き活きと働ける社会を構築するため、生産と加工・販売の一体化による農林漁業の六次産業化や企業誘致の促進、地域資源（地場産業などの知的資源、地域資本、人材、自然環境）を最大限に活用した新分野（コスメティック産業、再生可能エネルギー関連産業など）への進出など、全ての産業が調和したゆるぎない地域経済の発展を目指します。

また同時に、その担い手となる意欲を持った人材や団体などに対して、販路開拓、経営力強化、企業連携の促進・支援等を行うことで社会的・経済的活力を高めます。

基本的方向

・後継者が育つ魅力ある農林水産業の振興を図ります。

・地域の魅力アップによる商工業の活性化を図ります。

・地域資源を最大限に活用した新分野への進出を進めます。

基本目標３　生涯を通じてここちよく暮らせるまちづくり

少子化・高齢化・周辺地域の過疎化が急速に進む中、一人ひとりが生涯を通じて安心にここちよく暮らせることは、全ての市民が求める最も基本的な事項です。

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や自己啓発の時間、文化、スポーツ等を楽しむような個人の時間を持ち、健康で豊かな生活ができるよう、今こそ、社会全体で仕事と生活の双方の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現していかなければなりません。

また、生活の質を低下させることなく、社会参加を続けながら年を重ねていくアクティブエイジングの実現を目指します。

次世代を担う子どもたちを安心して産み、育てられ、いつまでも健康で、充実した老後を過ごすことができ、障がいのある人にもやさしく、社会参加できるまちづくりを実現するため、市民生活をしっかりと支える地域福祉の確立を目指します。

基本的方向

・市民のこころとからだの健康づくりを進めます。

・安心して出産や子育てができる環境整備を促進します。

・高齢者が元気に暮らせる環境づくりを進めます。

・障がいのある人の自立と社会参加を促進します。

基本目標４　生きる力に満ちた人をはぐくむまちづくり

市の将来を担っていく子どもたちは地域の宝であり、子どもたちの健全な育成は地域の重要な責務です。子どもたちの基礎学力の向上はもちろんのこと、自ら学び、考え、行動できる「生きる力」や「心豊かな子ども」をはぐくむ取り組みを、コミュニティスクール※や地域活動を通して、学校、家庭、地域が三位一体となり推進していきます。

また、地域における住民の生きがいとふれあいを目指すため、施設の適正配置、役割分担、生涯学習拠点としての機能充実を図り、地域住民自らが地域コミュニティの創造に参画できる体制を整備します。

さらに、すべての人が個人として尊重される社会を確立するため、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた人権教育・啓発と、グローバルな人材育成に取り組みます。

※　コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのことです。

基本的方向

・地域の将来を担う人材の育成を進めます。

・生涯を通じて知識が習得できる学習環境の整備を進めます。

・住民の生きがいとふれあいを生む地域コミュニティの形成を図ります。

・人権教育、人権啓発の推進を図ります。

基本目標５　歴史と文化が輝く観光のまちづくり

人口減少が進展していく中で、地域の活力を維持するため、歴史や文化、芸術やスポーツ、豊かな自然や食材などを活かして、多くの交流人口を創出し続ける観光のまちづくりが必要となっています。

本市には、古来より大陸との交流の窓口として発展してきた歴史があり、数多くの文化財や唐津焼、伝統的な祭りなどの多彩な文化、風光明媚な海や緑に恵まれるなど、かけがえのない地域の宝を有しており、誇りと安らぎを与えてくれる市民共有の財産となっています。

市民、団体、企業等と一体となって、歴史的・文化的資源、自然や景観、食、人を惹きつける物語などの「宝」を相互に繋ぎ、活用することで多くの交流を創出する観光のまちづくりを目指します。

また、アジアに近いことからも国際化に対応していくことが必要であり、人材の育成と、諸外国からの交流を受け入れる体制づくりを目指します。

基本的方向

・唐津らしさが輝く観光のまちづくりを促進します。

・文化活動の継承と文化交流を促進します。

・スポーツ環境の充実とスポーツ交流の促進を進めます。

・自然、歴史を活かした景観等の整備を進めます。

・交流拠点としての港湾の整備を進めます。

基本目標６　市民の力を最大限に引き出すまちづくり

人口減少、少子化、高齢化、過疎化、グローバル化が進展していく中で、本市が目指すまちづくりを実現させるためには、唐津ではぐくまれてきた市民一人ひとりの知恵や発想を最大限に引き出しながら、市民と行政がそれぞれの持つ力を合わせてまちづくりを進めていくことが必要となってきます。

また、地方分権が推進される中、地域が自らの選択と責任で個性と魅力あるまちづくりを進めるためにも、自治体としての機能をコンパクトで強固なものとする市政の総合的マネジメントとともに、健全で効率的な財政基盤の強化が重要となります。

政策決定や計画の立案などでは積極的な市民参画を促進して、自主的、自発的に地域の問題解決に取り組む市民と行政との連携・協働によるまちづくりを目指します。

基本的方向

・男女共同参画を推進し、女性も男性も活き活きと働ける環境づくりを図ります。

・市民との協働によるまちづくりを推進します。

・市民参画につながる広報広聴の充実を図ります。

・健全で効率的な財政基盤の強化を進めます。